

1 主題名 みんなが使うみんなのもの C—(10) 規則の尊重

2 教材名 「きいろい ベンチ」 (東京書籍「新しいどうとく2」)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本学習は、小学校学習指導要領「特別の教科道徳編」内容項目「規則の尊重(C 主として集団や社会との関わりに関すること)」の〔第1学年及び第2学年〕「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。」を受けている。

人が社会生活を営むためには、自分の思いのままに行動するのではなく、他の人の気持ちや立場を考えたり、自分の言動が他に与える影響を考えたりする姿勢が大切である。指導に当たっては、公共物を大切にすることはどうすることなのかを考えさせ、身近な約束やきまりはみんなが気持ちよく安心して過ごすためにあることに気付かせたい。

(2) 児童の実態

(男16名 女11名 計27名 10月12日実施)

項 目	回 答 (人 数)
1 きまりを守っていますか。	守っている。(20人) ときどき守っていない。(7人) 守っていない(0人)
2 みんなで使う物には、どのようなものがありますか。	・教室 ・清掃用具 ・遊具 ・図書室の本 ・トイレ
3 みんなで使う物を、大切にしていますか。	している。(21人) ときどきしていない。(6人) していない。(0人)

児童は、これまでの生活経験や学習を通して、集団や社会でも、いろいろなきまりや約束があることを知っている。しかし、まだ自己中心性が強く、周囲への配慮を欠いて自分勝手な行動をする姿も見られ、きまりをときどき守れていないと自覚している児童もいる。また、みんなで使う物を大切にしているかという質問に対して、ときどき大切にできていないと自覚している児童もいる。みんなで使う物を大切にすることは、どうすることなのかを考えることで、約束やきまりを守りながら生活していこうとする道徳的実践意欲や態度を育成したい。

(3) 指導観

本教材の内容は、公園で紙飛行機を飛ばして遊ぶことに夢中になっているたかしとてつおの2人が、その楽しさのあまりベンチを泥靴で汚してしまう。その汚れたベンチに女の子が座り、その女の子と汚れたスカートの泥を払うおばあさんの話を聞いて、2人は「はっ」として考え始めるという話である。

本時の指導に当たっては、ICTや具体物を用い、考える内容を具体的に理解できるようにする。紙飛行機を高い所から飛ばしたいという2人の気持ちに共感させ、夢中になって遊んでいるうちにベンチに乗ってしまったことに、自分との関わりで捉えさせたい。また、きまりを守らなかったことで、女の子のスカートの泥だらけになってしまったことを取り上げ、2人はどのようなことを考えたのか、役割演技を通して考えさせる。そして、役割演技後に、夢中で遊んでしまったことで、周りに迷惑をかけてしまったことに気付かせたい。児童の発言に対して、問い返しをすることで、言葉を補ったり、考えを深められるようにしたりして、本時のねらいに迫れるようにする。最後に、公共物を大切にすることは、どうすることなのか、自分の生活について考えることで、道徳的価値について、自覚して行動できるようにする。

4 本時の指導

(1) 目 標

みんなで使うものを大切にすることはどうすることなのかを考え、約束やきまりを守ろうとする態度を育てる。

(2) 資 料

ワークシート、掲示用挿絵、模型の黄色いベンチ、模型の泥、役割演技用挿絵、パソコン

(3) 学習指導過程

学習活動・発問	予想される児童の反応	○指導上の留意点 ◎評価
1 アンケート結果から、本時の課題を確認する。 ・みんなで使う物には、どのようなものがありますか。 みんなでつかうものを大切にすることは、どうすることなのか考えよう。	・教室 ・本 ・遊具	○タブレットを使って取ったアンケート結果や、公共物の写真を提示し、身の回りにはみんなで使うものがたくさんあることを認識させ、本時の学習への問題意識を高める。
2 教材「きいろい ベンチ」を読み、話し合う。 (1) ベンチに乗って紙飛行機を飛ばしているとき、二人はどんな気持ちだったでしょうか。 (2) 泥が付いているのを見て、女の子とおばあさんは、どんな気持ちでしょう。 (3) 顔を見合わせた二人は、どんな気持ちでしょう。 (4) 二人にどんなことを教えてあげますか。	・楽しい。 ・もっと飛ばしたい。 ・汚い。 ・誰がこんなことをした。 ・座らなければよかった。 ・女の子に泥が付いてしまった。 ・どうしよう。 ・謝らなきゃ。 ・ベンチに乗って遊んではだめだよ。 ・周りの人に迷惑をかけないようにしようね。	○遊びに夢中になってしまい、他の人の迷惑になることを考えていない2人の気持ちを考えるようにする。 ○スカートを汚してしまった女の子の気持ち、公共物を使用して嫌な気持ちになるときの感じ方や考え方を捉えられるようにする。 ○二人がどんなことを話しているのかを役割演技を通して考える。多くの人を使うものを汚してしまったことに気付いた2人の姿から、みんなで使う物を大切にすることについて考えられるようにする。 ○多面的・多角的に考えるために、ペアで話し合い、登場人物の2人に、どのように声をかけるのか聞き合う。さらに、全体で考えを共有する。
3 自分の生活について考える。 ・みんなが使う物を大切にすることは、どうすることなのだろうか。	・汚さない。 ・壊さない。 ・きれいに使う。 ・順番を守る。	○ワークシートに書くことで、道徳的価値についての自覚を深める。 ◎みんなで使うものを大切にすることはどうすることなのかを考え、約束やきまりを守ろうとしているか。 (観察、発表、ワークシート)